

### 「女性の活躍」というけれど…縮まらない男女の格差

#### ～就業面から考える～

世界経済フォーラムによる世界各国の男女格差ランキング 2014年版が公表され、日本は測定可能な142か国中104位でした。前年より一つ順位を上げたものの、世界各国に比べ日本の男女格差は依然として大きい結果となりました。特に国会議員の女性比率などが指標となる政治面、賃金や管理職比率などが指標となる就業面での格差が目立ちました。ここでは就業面から考えてみました。

#### ■男女の賃金格差とその要因

平成25年における一般労働者（短時間労働者を除く労働者）の男女の平均所定内給与額の差は、男性を100とした場合女性は71.3。この差は長期的には縮小傾向にあり、前年比0.4ポイント縮小してはいるものの格差は歴然です。また、管理職に占める女性割合についても、平成25年は11.2%で、アメリカ43.7%、フランス39.4%など、諸外国と比べ低い水準です。

賃金の格差が生まれる要因は、職制（部長・課長など）の違いが最も大きく、次に勤続年数の差が大きいとされています。日本における女性の働き方の特徴として、年齢階級別の労働力率のグラフでM字カーブを描くことが挙げられます。つまり就業の中断で、M字カーブは以前に比べ浅くなっているものの解消されてはならず、出産・育児の負担が相変わらず女性の就労継続の阻害要因になっていることが窺えます。このことによる勤続年数の長短が、職制の格差につながり、賃金の格差も生むこととなります。

#### ■非正規雇用の拡大

離職後の再就職となれば、好むと好まざるとにかかわらず非正規雇用という場合

も多くなります。非正規雇用者の割合は上昇しており全体では3人に1人、女性だけを見ると5割を超えています。年収では、100～200万円台の低収入の割合が高く、女性の貧困、特に母子家庭の貧困、ひいては子どもの貧困などの問題に繋がっていくことになるのです。

#### ■実効性ある施策に期待

少子高齢化や人口減少などを背景とした労働力不足への懸念もあり、女性の働く環境を整えようと、国を挙げて子育て支援や再就職支援策を進めています。各企業でも働きやすい環境づくりへの取り組みが進められています。このためか平成25年の女性の労働力人口は2804万人（前年比38万人増）労働力率も48.9%（0.7ポイント増）となり働く女性の数は増加しています。

しかし数だけではなく、真に働きやすく平等感の持てる環境整備が求められることは言うまでもありません。経済最優先を掲げる安倍首相も「すべての女性が輝く社会づくり」を標榜していますが、実効性のある取り組みを期待するところです。

※参考資料：平成25年版働く女性の実情（厚生労働省）、平成26年版男女共同参画白書（内閣府）

（佐竹）

# 我孫子で生きる女性たち

私たちのまち我孫子で生きる女性たち、その一人ひとりがそれぞれの場所で生き活きと活動し輝きを放っています。今回はお二人の方をご紹介します。



## 子どもに丁寧に向き合って育てる

横橋 郁子 (よこはいくこ) さん

つばめ保育園 園長

なか、中峠の「つばめ保育園」でお話を伺いました。園庭の築山はむき出しの黒い土が光っていました。いつもみんなで登るのでしょうか。園舎は全部木造で暖かな感じの作りです。横橋さんはこの園の園長先生です。

法律事務所で仕事をしていた横橋さんが保育の仕事をしたのは、第2子を生後7時間で亡くされたのがきっかけでした。仕事と子育てを続けながら、半年間必死で頑張っって保育士の資格を取ったのは31歳の時でした。

8年間は数か所の保育園で経験を積み、我孫子で無認可の「つばめ保育園」を開設しました。障がいを持った子も健常児も共に育てる保育園です。当時、我孫子には障がいを持った子を受け入れる施設はありませんでした。無認可の保育園は行政からの補助は一切ありません。園児の保育料と、父母の協力で行う協同購入やバザーが財源でした。

太陽の光を浴びて泥んこ遊びや木登り、草・昆虫たちと遊ぶ子どもの声が響きます。雨の日はたくさんの絵本を読んでもらって、先生方の愛をいっぱい受け守ら

れている中で、子どもどうし何かを作ったり競争したりしながら、友達との距離感や譲り合いを身につけていきます。家庭が担っていたと同じ事が今ここで丁寧に行われていると感じました。遊ぶだけでは…と思う方も多くなかで、横ちゃん(園ではみんながそう呼びます)は、卒園式から小学校の入学式までの1週間で「自分の名前くらい書けるようになるから大丈夫」と笑顔でした。

無認可のままではどうしても保育料が高くなり、入りたくても入れない子ができてしまう。障がいを持った子とお母さんをみて、「このままではいけない」と認可保育園をめざし、支援者の協力を得て土地を求めました。近隣との話し合いなどをして、やっと平成19年園舎を新築し、認可保育園(定員30名)として新しく出発しました。そして平成25年創立20周年を迎えお祝いの会をしました。

「子ども達のために平和であること、3・11の事故のようなことが起きないように、もう原発はいらない」と言います。それぞれの子どもを丁寧に見ていくには、その親達の相談相手としての対応も大切です。「ヒトに生まれた子を人間に育てる」のが仕事との言葉が印象的でした。

(重田)



## 地域に支えられ太鼓に打ち込む

新田谷 奈巳 (にったやなみ) さん

つくし野麒麟太鼓 代表

「つくし野麒麟太鼓」に打ち

込んでいる新田谷さんは、このグループの3代目の代表です。太鼓を打ち始めたのは、小学5年生の夏祭りに櫓の上で友達と叩いたときからで、以来すっかり虜になりました。本格的に初めて11年。

毎日曜日の夕方から17名の仲間と共に、つくし野コミュニティホールで太鼓を叩いています。激しい動きを伴った演奏は、若者ならではの力強さで聞く者の心を揺ぶります。現在は特別な指導者もないままに、メンバー同士が学んできたものをもとに、曲を選び動きを付けていくそうです。毎年、大学受験で休止する人もいますが、同じように夏祭りがきっかけで入ってくる仲間もいます。「全員が発表会で演奏できるようにするのが、私の役目です」と笑顔で話します。

このグループができた当初から地域の方たちの応援があり、いつも演奏を聞きに来てくださったり、大切な太鼓の保管場所まで貸して頂き本当に幸せです」と感謝の言葉もありました。

普段は成田の和菓子屋さんで製品開発の仕事をしています。「太鼓は大好きだから続けられる、ずっと続けたい」と話していました。仕事と太鼓の両立、素敵ですね。



※「つくし野麒麟太鼓」は、つくし野を拠点に活動しているグループで、子供たちのために地域の方々が15年前に結成しました。3月1日(日)13時30分から、つくし野コミュニティホールで「春の発表会」が開催されます。どうぞ、お出かけください。(重田)

### <エッセー>

### ワインの は な し



私が最初に出会ったワインは、ドイツ・デュッセルドルフでよく飲んだ モーゼル ワイン(白)であった。その後ロンドンに駐在、フランスワインに出会った。ボジョレニューボはその年の新酒、決して美味しいワインではない。これで騒いでいるのは日本だけである。

日本のワインは甘いだけと思って手を付けなかったが、先日松本でいただいた塩尻産ワインは、決してフランスに負けないものであった。ワインも「マッサン」のスコッチウイスキーのように本場を越えられるでしょうか。

私がこれまでいただいた赤ワインの最高は、アトランタのレストランでのカリフォル「OPUS ONE(オ - パス ワン)」であった。赤ワインは常温で飲むもの、冷やさない。赤は空気を入れてドボドボ注いでもOKだが、白は静かに。ドボドボはだめ、 ダメよダメダメ。

(山口)

# どうせやるならポジティブケア！

～介護が必要になっても 夢を持ち続けるために～

あびこ女性会議では我孫子市と共催で、2014年9月20日アビスタ・ホールにおいて、介護についてのワークショップを開催しました。講師には小黒信也さんをお迎えしました。小黒さんは1971年生まれ。浦安市のNPO法人未来介護プロジェクト代表。認知症の父の介護と看取りの経験をもとに、訪問介護事業、居宅介護支援事業、介護者サポート事業、高齢者体験用商品開発のサポート、認知症高齢者の地域参加支援などを展開しています。以下は小黒さんのお話から。



## 《対処療法的介護から未来予測的介護に意識をかえよう》

介護のイメージはなぜ暗いのでしょうか。「介護離職」「遠距離介護」「介護疲れ」など、介護を担う人の負担や、「認知症」「独り暮らし」「要介護」など、介護を受ける人の不安があるからだと思います。「介護準備」「仕事と介護の両立」をキーワードにポジティブ思考に転換し、介護の意識やイメージを楽しいものにしてほしい。

### 提案するホジティブケアとは、

- ①自分と家族や友人、身の周りの大切な人たちとの関係性を見直す。そのために互いのプロフィールを書いてみる(下記参照)。相手を知り互いの絆を深め、やさしい介護ができる。
- ②家庭内や地域内における誇りある役割、自慢できる役割を持つ。
- ③見守り、うながし、励ましによる寄り添うやさしさ。難しいがこれが良い介護の第一条件。
- ④積極的に老いを楽しむ心意気。そのためのきっかけを探そう。
- ⑤高齢者、認知症という固定観念に縛られないで潜在能力を活用しよう。

※ワークショップではこんなシートで書いてみました。

項目	あなた	大切な人
今一番行きたい所		
今一番欲しいもの		
子どもの頃の将来の夢		
食べ物の好き嫌い		
思い出の(大切な)場所		

大切な人…母、父、妻、夫、娘、息子、兄弟、姉妹など。

項目…他に、長所、短所、病気、介護や延命についての希望や考え方などをあげていきます。

◆身近で大切な人のことをあなたはどれだけ知っていますか？

## 講演会のお知らせ

2015年6月27日(土)  
午後2時から、アビスタ・ホールにおいて、我孫子市主催の講演会が予定されています。輝く女性を応援するような内容で、現在企画中のことです。

お楽しみに！

### あびこ女性会議 会員募集

お気軽にお立ち寄りください。

定例会：毎月第1木曜日午後1時30分から 市民活動ステーション（けやきプラザ10階）

※年会費 1,000円

連絡先 Tel 7183-2789（濱田）